

2024年
5月15日
より稼働

最新

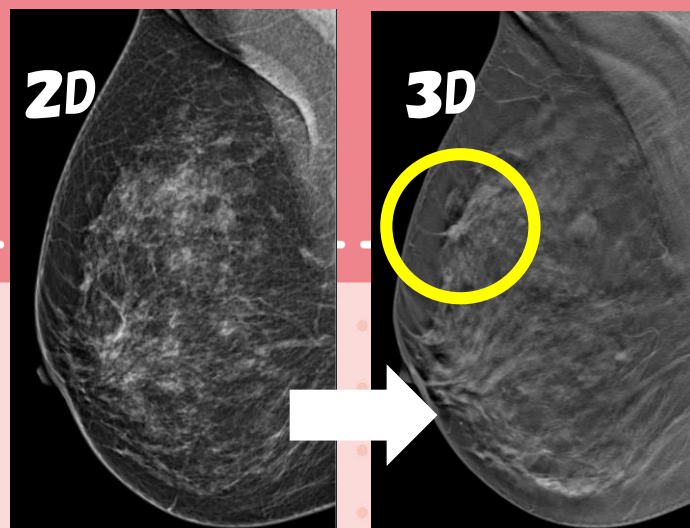
3Dマンモグラフィ トモシンセシス のご案内



マンモマート
MAMMOMAT
ビーブリリアント
B.brilliant



トモシンセシスは、3Dマンモグラフィと呼ばれることもあります。
少しずつX線管球を動かしながら多断面、広角度（50度）の画像を5秒間で撮影します。
1mmの薄いスライス画像を複数枚作成し、3次的に再構成することで画像の重なりを除いて、より高い精度で乳がんの発見が可能になります。



画像提供先：シーメンスヘルスケア株式会社

特徴その①

1. 乳房腫瘍の視認性向上
2. 異常所見の正確な判断
3. 乳房腫瘍の辺縁の微細な構造が評価しやすい

特徴その②

- 3D撮影が最短5秒でできます。

（2Dマンモグラフィの撮影時間は現行と同様です。
2D撮影後、3D撮影を続けて行います。
2D+3D撮影の圧迫時間は、約7~10秒です。）

特徴その③

- 現行の2Dマンモグラフィと同等の放射線量です。

（現行の2Dマンモグラフィの放射線量は2.2mGyです。2D撮影+3D撮影（トモシンセシス）は2.4mGyです。日本のガイドラインでは、平均乳腺線量が3mGy以下になるように決められているので、適正範囲です。ご不明点は放射線技師におたずねください。）

日本人女性の
9人に1人が
生涯の間に乳がんにかかります
早期発見のために
お勧めします

料金 **2D撮影** **5,500円(税込)**
2D+3D撮影 **11,000円(税込)**

※ 3D撮影は通常の2D撮影との組み合わせが必須のため、3D撮影（トモシンセシス）のみの撮影は行えません。

既にマンモグラフィ（2D撮影）をご予約済みの方は、追加料金5,500円（税込）で3D撮影（トモシンセシス）の予約が可能です。

日本大学病院 健診センター